

新たな未来への挑戦

新年、明けましておめでとうございます。県民の皆様には、かねてから、県政の推進に多大な御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

現在、我が国は、グローバル化の急速な進展や本格的な人口減少、超高齢社会の到来、地域間格差の拡大など大きな変革期を迎え、社会保障や社会福祉、財政など、これまで社会の各方面において有効に機能していた様々なシステムが、十分に機能しなくなってきております。さらに、最近の世界的な金融経済情勢の悪化が、我が国の实体经济に影響を及ぼし、景気が悪化するなど、将来に対して不透明感が増しております。

このような時代の潮流に的確に対応するため、県としましては、本県が置かれている厳しい経済環境等を踏まえながら、21世紀における人類の共通課題である、「環境」、「食料」、「医療・福祉」に重点を置きつつ、持続可能な行財政構造の構築や足腰の強い産業基盤の確立、高速交通体系の整備など、諸施策を積極的に進める必要があると考えております。

このような中、私は、知事就任以来、「持続可能性への挑戦」、「産業おこしへの挑戦」、「鹿児島おこしへの挑戦」の「三つの挑戦」を県政のテーマとし、「力みなぎる・かごしま」の実現を目指して、様々な改革を推進してまいりました。さらに二期目の県政運営を担うに当たり、マニフェストとして「新たな未来への挑戦」を掲げ、子どもからお年寄りまですべての県民が生涯を通じて安心して暮らすことができ、自らの人生やふるさとに夢と誇りを持つ、優しく温もりのある地域社会を構築するために、引き続き全力を傾注してまいります。

昨年は、大河ドラマ「篤姫」放映の効果により「篤姫ゆかりの地・鹿児島」への注目・関心が大きく高まるとともに、秋に開催された第21回全国健康福祉祭がごしま大会「ねんりんピック鹿児島2008」では全国から元気な高齢者の方々に多数ご参加いただきました。また、今年の7月には、観測時間が今世紀最長という世界中から注目される皆既日食が本県離島で観測されます。このような好機を最大限に生かしながら、平成23年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業を見据えた諸施策を展開し、「本物。鹿児島県」が持つ豊かな自然や個性ある歴史・文化、豊富な食材などを元気にする本物の素材があふれる鹿児島県の魅力を、全国に情報発信していきたいと思えます。

今後も、時代の趨勢をいち早くつかみながら、鹿児島が持つ発展の可能性を信じ、21世紀にふさわしい「力みなぎる・かごしま」、「日本一のくらし先進県」づくりに果敢に挑戦してまいりますので、引き続き、県政に御関心をお寄せいただき、県政の改革に御支援・御協力くださるようお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が希望に満ちた明るい一年となりますことを心から祈念いたします。



平成二十一年元旦
鹿児島県知事 伊藤祐一郎